

Michaël Borremans

Mark Manders

ギャラリー小柳 展覧会のご案内

Michaël Borremans | Mark Manders

2018.11.2 (Fri) – 12.22 (Sat)

この度、ギャラリー小柳では、11月2日（金）から12月22日（土）の会期で、ミヒャエル・ボレマンスとマーク・マンダースによる展覧会「Michaël Borremans | Mark Manders」を開催いたします。ギャラリー小柳での展覧会は、ボレマンスが2014年の個展以来4年ぶり3回目、マンダースは2015年の個展以来3年ぶり2回目の展示となります。

ミヒャエル・ボレマンスは1963年、ベルギー中西部ヘラルツベルヘン生まれ、現在はアントワープで制作活動を行っています。それまでの写真による表現から本格的に絵画に転向した1990年代半ばから国際的な評価が高まり、ベルリン・ビエンナーレ（2006年）、横浜トリエンナーレ（2011年）、シドニー・ビエンナーレ（2018年）など主要な国際美術展に招聘されています。2014年には原美術館でアジア初の美術館での個展を開催、同時期にブリュッセルで始まった大規模な回顧展がテルアビブ、ダラスへと巡回しました。

フランドル絵画の伝統を想起させるような精緻な技術で描き出されるボレマンスのペインティングには静謐な時間と謎めいた雰囲気をつたえています。そこに配される人物はしばしば意味のない作業に没頭しており、また素材のわからない布で表情を覆い隠されています。その情景はリアルに見えながら、映画や舞台のセットのような非日常的な印象を与え、鑑賞者に解釈が委ねられるのです。

マーク・マンダースは1968年、オランダ南部のフォルケル生まれ、現在はベルギーのロンセを拠点に制作を行っています。1990年代初頭より作品の発表を開始。サンパウロ・ビエンナーレ（1998年）、ドクメンタ11（2002年）、マニフェスタ5（2004年）などの国際展に招聘され、2013年のヴェニス・ビエンナーレではオランダ代表作家としてオランダ館で個展を開催しました。日本では、東京オペラシティアートギャラリー（2000年）、金沢21世紀美術館（2006年）でのグループ展、2016年のあいちトリエンナーレに参加しています。

マンダースは1980年代後半より、彫刻や家具、日用品や建築部材などを「想像上の」部屋に、緻密に練られた配置図に基づいて配するインスタレーションを制作してきました。それらはすべて作家が「建物としてのセルフポートレート」と呼ぶライフワークの断片であり、時代や様式を超えて普遍的な美しさを醸し出す彫刻や、実物よりわずかに縮小された家具などを介して、作家自身の抽象的で個人的な思考や感情を、空間のなかで視覚化する作業といえましょう。

今回はボレマンズのペインティングを4点、マンダースの彫刻を4点、すべて新作でギャラリー小柳の空間を構成する特別な展覧会となります。展覧会の初日、11月2日（金）午後6時からのレセプションには作家が来場いたします。ぜひお立ち寄りいただけますようお願い申し上げます。

資料および図版のご依頼は、下記担当者までご連絡ください。

ご掲載の際にはご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【展覧会概要】

展覧会名：**Michaël Borremans | Mark Manders**

会期：2018年11月2日（金）～12月22日（土）

[オープニングレセプション：11月2日（金）18:00-20:00]

*今回の展覧会にあわせて両作家が来日いたします。

開廊時間：11:00～19:00 日月祝休廊

会場：ギャラリー小柳（東京都中央区銀座1-7-5小柳ビル9F）

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236 Email: mail@gallerykoyanagi.com

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A-9出口より徒歩5分

URL：<http://www.gallerykoyanagi.com>

お問い合わせ／図版請求先：ギャラリー小柳（担）桑島／善名／笠松

*作品図版は11月2日以降にご提供可能となります。何卒ご了承くださいませ。

ミヒャエル・ボレマンス MICHAËL BORREMANS

1963年、ベルギー ヘラルツベルヘン生まれ

現在、ゲント ベルギー在住

主な個展

- 2018 「Fire From the Sun」 David Zwirner (香港)
- 2017 「Sixteen Dances」 Zeno X Gallery (アントワープ)
- 2015 「Fixture」 CAC Malaga (マラガ、スペイン)
 「Black Mould」 David Zwirner (ロンドン)
 「As sweet as it gets」 Dallas Museum of Art (ダラス、アメリカ)
- 2014 「As sweet as it gets」 Tel Aviv Museum of Art (テルアビブ、イスラエル)
 「As sweet as it gets」 Bozar (ブリュッセル)
 「Girl with Hands」 ギャラリー小柳 (東京)
 「The Advantage」 原美術館 (東京)
- 2013 「The People from the future are not to be trusted」 Zeno X Gallery (アントワープ)
- 2012 「Magnetics」 BAWAG Contemporary (ウィーン、オーストリア)
- 2011 「The Devil's Dress」 David Zwirner (ニューヨーク)
 「Eating the Beard」 Kunsthalle Helsinki (ヘルシンキ、フィンランド)
 「Eating the Beard」 Mücsarnok / Kunsthalle Budapest (ブダペスト、ハンガリー)
 「Eating the Beard」 Württembergischer Kunstverein (シュトゥットガルト、ドイツ)
- 2010 「Eating the Beard」 Kunsternes Hus (オスロ、ノルウェイ)
 「Eating the Beard」 Zeno X Gallery (アントワープ)
 「Commission for the Belgian Queen」 Royal Palace, Brussels (ブリュッセル)
 「Looking for the face I had before the world was made」 Museum of Contemporary Art, Denver (デンヴァー、アメリカ)
- 2009 「Automat」 Kestner Gesellschaft (ハノーヴァー、ドイツ)
 「Taking Turns」 David Zwirner (ニューヨーク)
- 2008 「Ausstellung zum Overbeck Preis für Bildende Kunst der Gemeinützigen」 Overbeck Gesellschaft Lübeck (リュウベック、ドイツ)
 「Earthlight Room」 ギャラリー小柳 (東京)
 「Painted Fruit」 Zeno X Gallery (アントワープ)
 「Weight」 Centro de Artes Visuais (コインブラ、ポルトガル)
- 2007 「Veldwerk」 De Appel Arts Centre (アムステルダム、オランダ)
- 2006 「The Good Ingredients」 La Maison Rouge - Fondation Antoine de Galbert (パリ)
 「Horse Hunting」 David Zwirner (ニューヨーク)
- 2005 「The Performance」 The Royal Hibernian Academy, Gallagher Gallery (ダブリン、アイルランド)
 「Hallucination and Reality」 The Cleveland Museum of Art (クリーヴランド、アメリカ)
 「The Performance」 Parasol Unit Foundation for Contemporary Art (ロンドン)
 「An Unintended Performance」 S.M.A.K. (ゲント)
- 2004 「Michaël Borremans: Drawings」 Museum Für Gegenwartskunst (バーゼル、スイス)
 「Four Fairies」 Kunsthalle Bremerhaven (ブレーマーハーフェン、デンマーク)
 「Fisherman's Luck」 Zeno X Storage (アントワープ)
- 2003 「Trickland」 David Zwirner (ニューヨーク)
- 2002 「Young and Innocent」 Zeno X Gallery (アントワープ)
- 2000 「Vereniging van het S.M.A.K.」 S.M.A.K. Stedelijk Museum voor Arctuele Kunst (ゲント)
- 1999 「The Fetish Paintings」 Croxhapoxruimte (ゲント)
- 1998 「The Mind and It's Limit's」 In den Bouw (カルケン、ベルギー)
- 1997 Cerebral Office, Voorkamer (リール、ベルギー)
 Huize St.-Jacobus (ゲント)
- 1996 Croxhapoxruimte (ゲント)

マーク・マンダース MARK MANDERS

1968年、オランダ フォルケル生まれ

現在、ロンネ ベルギー在住

主な個展

- 2017 「Rokin fountain sculpture (permanent installation)」 Rokin Square (アムステルダム)
 「Minneapolis Sculpture Garden (permanent installation)」 Walker Art Center (ミネアポリス、アメリカ)
- 2016 「Mark Manders」 Zeno X Gallery (アントワープ)
- 2015 「Mark Manders」 Tanya Bonakdar Gallery (ニューヨーク)
 「Mark Manders」 Gallery Koyanagi (東京)
- 2014 「Mark Manders」 Centro Galego de Arte Contemporanea (サンティアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン)
- 2013 「Room with broken Sentence」 Dutch Pavillion, 55th Venice Biennial (ヴェニス)
- 2012 「Parallel Occurrences / Documented Assignments」 Dallas Museum of Art (ダラス、アメリカ)
- 2011 「Two Interconnected Houses」 Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)
 「Parallel Occurrences / Documented Assignments」 Walker Art Center (ミネアポリス、アメリカ)
 「Parallel Occurrences / Documented Assignments」 Aspen Art Museum (アスペン、アメリカ)
 「Two Interconnected Houses」 La Casa Luis Barragán (メキシコシティ)
- 2010 「Parallel Occurrences / Documented Assignments」 Hammer Museum (ロサンゼルス)
- 2009 「The Absence of Mark Manders」 Kunsthaus Zürich (チューリヒ)
- 2008 「The Absence of Mark Manders」 S.M.A.K. (アントワープ、ベルギー)
 「The Absence of Mark Manders」 Kunsthall Bergen (ベルゲン、ノルウェー)
- 2007 「The Absence of Mark Manders」 Kunstverein Hannover (ハノーバー、ドイツ)
- 2006 「Mark Manders: Short Sad Thoughts」 BALTIC Centre for Contemporary Art (ゲーツヘッド、イギリス)
- 2005 「Parallel Occurrence」 IMMA - Irish Museum of Modern Art (ダブリン、アイルランド)
 「MATRIX 214: The Absence of Mark Manders」 Berkeley Art Museum (バークレー、アメリカ)
- 2003 「Mark Manders」 The Art Institute Chicago (シカゴ)
 「Mark Manders」 Pinakothek der Moderne (ミュンヘン)
- 2002 「Kaleidoscope Night」 Kröller-Müller Museum (オッテルロー、オランダ)
- 1998 「XXIV Biennale Sao Paolo. Self Portrait in a surrounding area」 (サンパウロ)
 「14 Fragments from Self-Portrait as a Building」 Staatliche Kunsthalle (バーデン・バーデン、ドイツ)
- 1997 「Mark Manders」 The Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)
 「Mark Manders」 De Appel (アムステルダム)
- 1994 「Mark Manders shows some fragments of his Self-Portrait」 MUHKA (アントワープ)
 「Mark Manders」 Van Abbemuseum (アイントホーフェン、オランダ)